

第53期報告書

2013.10.1 - 2014.9.30

INATOR CREATIVE
MARKETING
COORDINATOR
CREATIVEMARKETINGCOORDINATOR
CREATIVEMAR
CREATIVE
MARKETING
COORDINATOR
CREATIVEMARKETINGCOORDINATOR
CREATIVEMARKETINGCOORDINATOR
CREATIVEMARKETINGCOORDINATOR



Creative
Marketing
Coordinator
株式会社 シイエム・シイ

本 社
〒460-0021 名古屋市中区平和一丁目1番19号
TEL (052)322-3351(代表)

<http://www.cmc.co.jp/>

証券コード:2185

株式会社 シイエム・シイ

心動かすマーケティング。

お客さま企業の「売る気づくり」「買う気づくり」「満足づくり」をサポートする3つのマーケティング活動をワンストップ・ソリューションとしてご提供するとともに、最新のICT*を融合させ、お客さま視点での満足度を追求した付加価値の高いサービスを提供いたします。

インターナル・マーケティング Internal Marketing

お客さま企業の
従業員の方の
売る気づくり

+ ICT
膨大な文書データ・
製品情報の管理

エクスターナル・マーケティング External Marketing

お客さま企業の商品を
購入する消費者の方の
買う気づくり

+ ICT
スマートデバイスを
活用した販売支援

カスタマーサポート・マーケティング Customer Support Marketing

お客さま企業の商品を
購入していただいた
消費者の方の
満足づくり

+ ICT
マニュアル編集効率化
アプリケーションのご提供

お客さま企業のニーズにこたえ、ICTを駆使したソリューションをご提供しております。

* ICT: Information and Communication Technology

今期実施した新規トライアルのご紹介

訪日外国人おもてなし力 強化プログラム

来る2020年に向け、お客さま企業のおもてなし力向上のための支援プログラムをスタートいたしました。
<http://www.cmc.co.jp/service/omotenashi/index.html>



こんな場面の「おもてなし力」を向上!

Step1 覆面調査

外国人観光客になりすまして
調査を実施します

Step2 集合研修

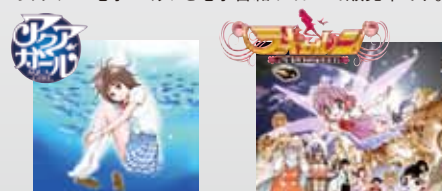
お客さまの課題に合わせて
研修を実施します

ネットコミュニケーションラボ設立

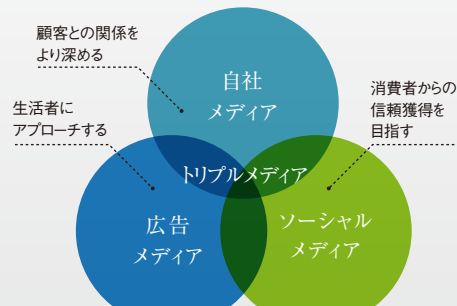
トリプルメディアの研究と実証実験を通じて、Webマーケティングにおける最適解をご提案することを目的に、ラボを設立いたしました。

トリプルメディア
自社メディア、ソーシャルメディア、
広告メディアを合わせた総称。

Webマーケティングの実験商材として、
オリジナル電子コミックを電子書籍サイトで販売中です。



ランドセルン©(株)エートゥシープロダクション/佐木あつし/(株)シイエイ・シイ
アクアガール©ピエゾコミックコーポレーションあおきてつお/(株)シイエイ・シイ



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社グループは2014年9月30日をもって、第53期の事業年度を終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

今期は、当社を取り巻く市場は活況であり、またコスト削減を含め、業績向上に努めた結果、売上・利益ともに堅調に推移いたしました。一方で、研修事業の拡充やネットコミュニケーション研究の一環として電子コミックを商材としたテストマーケティングにも取り組み、将来を見据え、新たな領域へと展開してまいりました。

2014年9月期の配当金につきましては、安定的かつ継続的な配当により、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするという考えのもと、業績内容も勘案し、前期より10円増配し、1株当たり80円とさせていただきます。

今後とも、益々のご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくご依頼申し上げます。



代表取締役社長 佐々 幸恭

国内外における各種教育施策案件の増加が大きく、増収・増益

当連結会計年度の売上高は、16,039百万円(前年同期比1,854百万円増、同13.1%増)、営業利益は1,466百万円(前年同期比488百万円増、同49.9%増)、経常利益は1,570百万円(前年同期比530百万円増、同50.9%増)、当期純利益は906百万円(前年同期比384百万円増、同73.5%増)となりました。

上記の結果となった要因として、売上高につきましては、インターナル・マーケティングにおいて自動車関連分野における

国内外での各種教育施策案件の増加、同分野における業務支援システム案件の増加があったほか、主力のカスタマーサポート・マーケティングにおいても、新型車解説書案件の増加や海外向け使用説明書・修理書案件の増加があり、前年同期比増収の結果となりました。

また利益面につきましても、売上高の増加が寄与し、前年同期比増益となりました。

事業分類

マーケティング事業 株式会社シイエム・シイ、丸星株式会社、Maruboshi Europe B.V.、広州国超森茂森信息科技有限公司

インターナル・マーケティング Internal Marketing

お客さま企業の従業員を

「売る気にさせる」

スタッフのセールス・サービス業務の標準化や、
商材教育・販売教育・技術教育等の企画・運営

カスタマーサポート・マーケティング Customer Support Marketing

お客さま企業の商材を購入いただいた方に

「満足していただく」

使用説明書や修理書等、技術情報の企画・編集・制作および翻訳

その他 Other

業務受託等

システム開発事業 株式会社CMC Solutions

お客さま企業のICT*に関する課題解決を

「トータルで支援する」

システムに関するコンサルテーション・構築・運用サポート

エクスターナル・マーケティング External Marketing

お客さま企業の商材を魅力的に訴求し、消費者を

「買う気にさせる」

販売促進や広告宣伝、広報等の企画・運営

トータルプリンティング Total Printing

お客さま企業の商材に関するマニュアルに特化した

「印刷サービスを提供する」

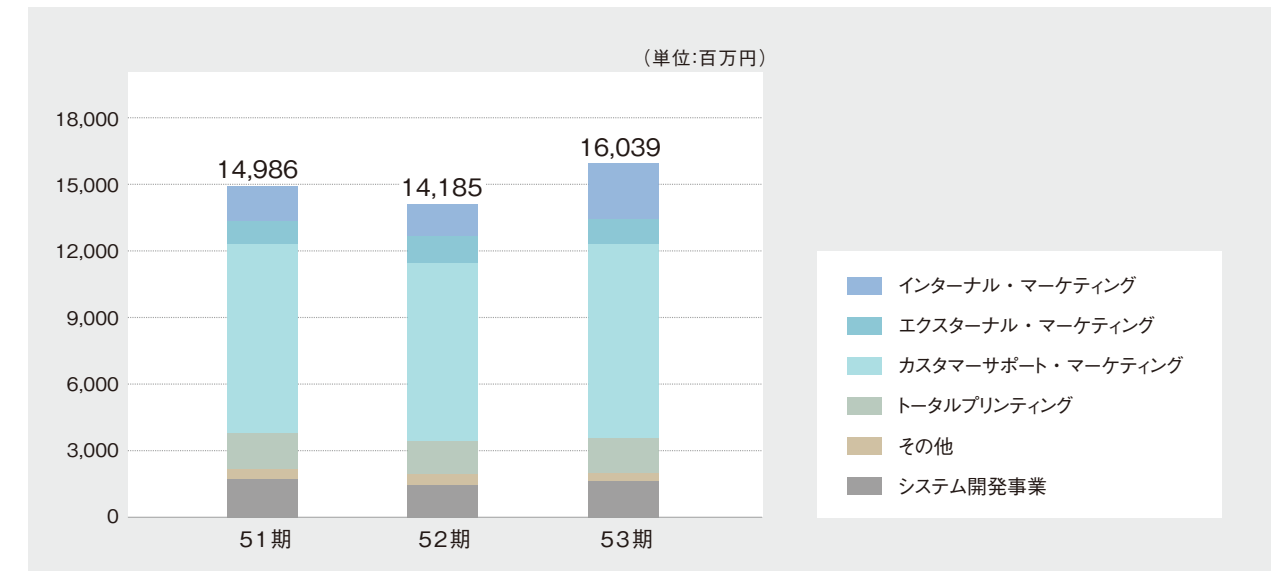
使用説明書や修理書等の印刷・製本・加工

* ICT:Information and Communication Technology

事業分類別売上高推移

(単位:百万円)

	51期		52期		53期	
インターナル・マーケティング	1,571	10.5%	1,452	10.2%	2,531	15.8%
エクスターナル・マーケティング	1,048	7.0%	1,215	8.6%	1,164	7.3%
カスタマーサポート・マーケティング	8,553	57.1%	8,054	56.8%	8,735	54.5%
トータルプリンティング	1,631	10.9%	1,504	10.6%	1,603	10.0%
その他	452	3.0%	477	3.4%	377	2.4%
マーケティング事業	13,257	88.5%	12,704	89.6%	14,411	89.8%
システム開発事業	1,729	11.5%	1,480	10.4%	1,628	10.2%
合計	14,986	100.0%	14,185	100.0%	16,039	100.0%



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

業績の状況

■ マーケティング事業

売上高 **14,411**百万円 営業利益 **1,591**百万円

インターナル・マーケティングは、自動車関連分野における国内外での各種教育施策案件の増加、同分野における業務支援システム案件の増加などにより、売上高は2,531百万円(前年同期比1,078百万円増、同74.3%増)となりました。

エクスターナル・マーケティングは、自動車関連分野におけるブランドイメージ向上支援案件の増加があったものの、不動産関連分野における販促物制作案件の減少などがあり、売上高は1,164百万円(前年同期比51百万円減、同4.2%減)となりました。

カスタマーサポート・マーケティングは、自動車関連分野において、新型車解説書案件の増加があったことに加え、海外向け使用説明書・修理書案件の増加もあり、売上高は8,735百万円(前年同期比680百万円増、同8.4%増)となりました。

トータルプリンティングは、自動車関連分野における印刷案件の増加があり、売上高は1,603百万円(前年同期比98百万円増、同6.6%増)となりました。

その他については、コンビニエンスストア店舗閉鎖に伴う減少があり、売上高は377百万円(前年同期比99百万円減、同20.9%減)となりました。

これらの結果、マーケティング事業の売上高は14,411百万円(前年同期比1,706百万円増、同13.4%増)、営業利益は1,591百万円(前年同期比471百万円増、同42.1%増)となりました。

■ システム開発事業

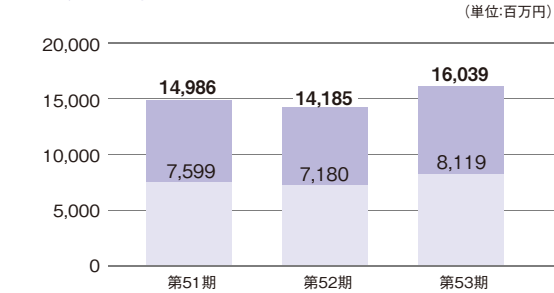
売上高 **1,628**百万円 営業利益 **52**百万円

ソフトウェア受託開発を主力とするシステム開発事業は、主要なお取引先からの受注案件の増加に加え、新規ビジネスであるコンサルティング業務とこれに付随するシステム開発案件の増加があり、売上高は1,628百万円(前年同期比147百万円増、同10.0%増)となりました。営業利益は52百万円(前年同期比15百万円増、同41.0%増)となりました。

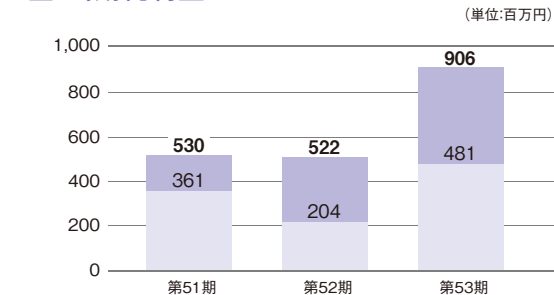
財務ハイライト(連結)

■ 中間期 ■ 通期

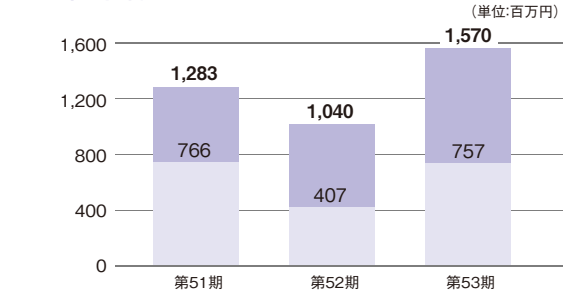
■ 売上高



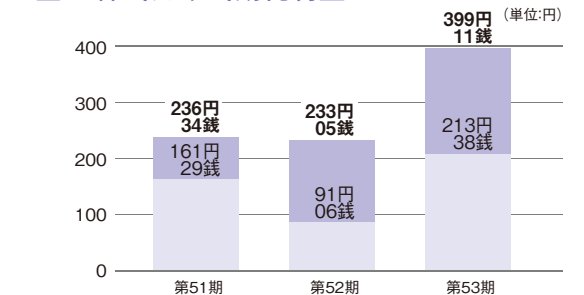
■ 当期純利益



■ 経常利益



■ 1株当たり当期純利益



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point

売上高については、インターナル・マーケティングにおいて商品教育案件を中心に各種教育施策案件が増加したほか、カスタマーサポート・マーケティングにおいても、新型車案件の増加などがあり、前年同期比増収・増益となりました。

■ 1株当たり配当金

2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
60円	60円	70円	70円	80円

2014年9月期の配当金は、普通配当80円となりました。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表（要約）

(単位：百万円)

区 分	当期末 (2014年9月30日現在)	前期末 (2013年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	9,165	7,228
固定資産	4,669	4,928
有形固定資産	2,622	2,698
無形固定資産	883	1,120
投資その他の資産	1,163	1,108
資産合計	13,835	12,157
負債の部		
流動負債	2,688	1,982
固定負債	1,227	1,105
負債合計	3,916	3,087
純資産の部		
株主資本	9,794	8,922
資本金	590	529
資本剰余金	504	443
利益剰余金	8,699	7,949
自己株式	▲0	▲0
その他の包括利益累計額	119	141
少数株主持分	5	5
純資産合計	9,919	9,069
負債純資産合計	13,835	12,157

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書（要約）

(単位：百万円)

区 分	当期 2013年10月1日から2014年9月30日まで	前期 2012年10月1日から2013年9月30日まで
売上高	16,039	14,185
売上原価	10,991	9,858
売上総利益	5,048	4,326
販売費及び一般管理費	3,581	3,348
営業利益	1,466	978
営業外収益	107	63
営業外費用	3	1
経常利益	1,570	1,040
特別利益	2	3
特別損失	8	15
税金等調整前当期純利益	1,563	1,029
法人税、住民税及び事業税	677	532
法人税等調整額	▲20	▲25
法人税等合計	656	507
当期純利益	906	522

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

(単位：百万円)

区 分	当期 2013年10月1日から2014年9月30日まで	前期 2012年10月1日から2013年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,478	500
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲162	▲408
財務活動によるキャッシュ・フロー	64	▲183
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	51
現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）	1,425	▲39
現金及び現金同等物の期首残高	3,589	3,599
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	29
現金及び現金同等物の期末残高	5,015	3,589

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

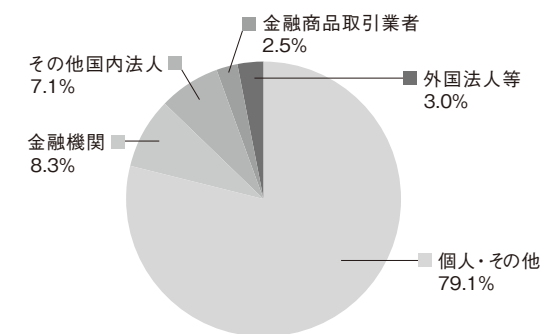
企業情報・株主メモ

(※企業情報は2014年9月30日現在。ただし、役員については、2014年12月19日選任者)

株式の状況

発行可能株式総数	7,970,000株
発行済株式の総数	2,315,186株 (自己株式数314株を除く)
株主数	843名

株式の分布状況



大株主

	持株数(株)	持株比率(%)
佐々 香予子	468,600	20.24
林 幹治	237,110	10.24
シエム・シイ従業員持株会	224,080	9.68
林 史子	110,000	4.75
トヨタ自動車株式会社	100,000	4.32
株式会社三菱東京UFJ銀行	60,000	2.59
佐々 幸恭	46,340	2.00
株式会社三井住友銀行	40,000	1.73
鷲尾 美里	36,600	1.58
龍山 真澄	36,000	1.55

※持株比率は、自己株式314株を控除して算出しております。

会社概要

商号	株式会社シエム・シイ
英訳名	CMC CORPORATION
本社所在地	〒460-0021 名古屋市中区平和一丁目1番19号 TEL(052)322-3351 FAX(052)322-9548
設立	1962年5月
資本金	5億9,088万円
従業員	連結814名 単体414名
上場市場	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)

役員

取締役会長	林 幹治
代表取締役社長 代表執行役員	佐々 幸恭
取締役専務執行役員	大坪 勉
取締役常務執行役員	小林 淑記
取締役執行役員	成田 克己
取締役(非常勤)	龍山 真澄
取締役(社外、非常勤)	大武 健一郎
常勤監査役	中目 哲夫
監査役(社外、非常勤)	後藤 武夫
監査役(社外、非常勤)	黒神 聡
常務執行役員	田島 龍司
常務執行役員	近藤 幸康
常務執行役員	窪田 宏
執行役員	奥田 憲二
執行役員	村杉 満
執行役員	大塚 文男

連結対象子会社

株式会社CMC Solutions(名古屋市中区)
丸星株式会社(横浜市西区)
Maruboshi Europe B.V.(オランダ アムステルダム)
広州国超森茂森信息科技有限公司(中国 広州)

拠点

[海外]
アメリカ合衆国(ロサンゼルス)、中華人民共和国(広州、北京、上海)、
タイ(バンコク)、シンガポール、オランダ(アムステルダム)、
フランス(ベルサイユ)、ポーランド(ワルシャワ)、台湾(台中、台北)
[国内]
名古屋市中区・中川区、愛知県日進市、東京都中央区、
大阪市西区、横浜市西区

株主メモ

証券コード	2185
事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月
基準日	定時株主総会・期末配当: 毎年9月30日 中間配当: 毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先(電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 http://www.cmc.co.jp/

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。